

調査・研修等計画届出書

令和 元年 10月 24日

瀬戸市議会議長 様

議員名 臼井 淳 

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和元年 11月 4日から 11月 4日まで (泊1日)	
調査先・研修名	議員力研究会	
会場名 (会場所在地)	名古屋市中村区 新明コミュニティセンター会議室	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	<p>議員の質問力(議案質疑)を高め議会改革に活かすため、自治体議会のあり方や議員の資質向上、自治体政策のあり方等に関して知見を深め、日常の議員活動に活かすための研究会です。</p> <p>議員力向上を目指すため「一般質問」や「議案質疑」に関する疑義などについて、参加メンバー及びアドバイザーとの意見交換を通して、自身の自治体課題や問題点を明らかにすることを目的とする。</p>	
議長名の依頼	要・不要	依頼先 (名称)
		なし
同行者名	なし	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 元年 11 月 5 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 臼井 淳



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 元年 11 月 4 日から 11 月 4 日まで (泊 1 日)
調査先・研修名	議員力研究会
会場名 (会場所在地)	名古屋市中村区 新明コミュニティーセンター会議室
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	「議員力研究会」は、東海地区及び近郊の自治体議員が、議員の質問力(議案質疑)を高め議会改革に活かすため、議会のあり方や議員の資質向上、自治体政策のあり方等に関して知見を深め、日常の議員活動に活かすための研究会です。 議員力向上を目指すため「一般質問」や「議案質疑」に関する疑義などについて、参加者メンバー及びアドバイザーからの意見交換を通じて、参加者の自治体課題や問題点を明らかにすることを目的とする勉強会。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
1、 事例発表 (1)、事例報告者が、前回の 9 月定例会の「一般質問」、「議案質疑」、「委員会審査」に関する疑問や疑義などについて意見交換を行い、政策、事業のどこに問題や課題があるのか明らかにしていく。 ・ 臼井 淳議員 (瀬戸市) ・ 海住常幸議員 (松阪市) ・ 杉山元則議員 (各務原市)	
2、 龍谷大学土山喜希美枝教授の講話と意見交換 ・ 政策議会の「話し合い」を考える。 議会に対話と議論はあるのか。「議会改革の難所」としての「議会報告会」、「議員間討議」が、なぜ難しい所なのか?	

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

・白井淳（瀬戸市）テーマ「本山中学校跡地をなぜ転貸してまで活用するのか」
《瀬戸市が考える5つの跡地活用の効果》

- ① 敷地を返還せずに跡地活用を進めることで、同地の未利用を回避できる。
- ② 市の他の政策と整合がとれた跡地活用を図ることができる。
- ③ 他の跡地活用に先駆けて、校舎をそのままモデル的事業の実施に繋がる可能性がある。
- ④ 閉校後の校舎解体費用を削減できる。
- ⑤ 事業を実施することで、地域貢献、周辺地域への経済的効果が期待できる。

9月定例会「一般質問」では、上記①～⑤について質問するが、事業者が未定の段階だったため、深い議論ができなかった。瀬戸市中心部に位置する小学校5校・中学校2校を統廃合し、閉校する本山中学校跡地の活用について、公募型プロポーザル方式による跡地活用の事業者を募っている時期であったため、具体的な活用方法に対する問題点や総合計画との整合性について、深く議論することができなかった。

・土山教授講話は、議会に対話と議論があるのか。

(1) 政策を議論する議会か、追認する議会（追認機関になり下がっている）
政策をめぐる議論の基本についての理解はあるのか。

(2) 議論の前提が議会にあるのか。つまり、自由な議論が前提でないと、質問や質疑以前に結論ありきになっていないか。「絶対・無謬の行政」がもつ「正解」の追認とする議会不要、議論の過程が結論を左右するという「自由度」が議会にあるのか。

(3) 「心が折れる議会報告会」と盛り上がらない議員間討議という問題
心が折れないために何が必要か、盛り上がる議論のためなにが必要か。

・議会報告会の目的は明確になっているか、そのための手段は適切か。

・議論したい論点か、議論することに意味のあるタイミングか＝争点×機会

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

●9月定例会「一般質問」は、空振りに終わっているが、その後、公募が締め切られ、応募は1社だけであった。跡地活用選定委員会では、選定が行われ活用事業者が決定している。問題点の一つに、本山中学校の土地（愛陶工）を転貸してまで、民間事業者に跡地活用をしなければならない明快な理由が見つからない。当該事業の事実関係と状況把握するためにも情報公開請求等の情報収集が必要である。現在、12月定例会に向けて準備中である。

●土山教授の講話では、特に「議員間討議」が盛り上がらない点について、委員会での「議案審査」の前に、あらかじめ各委員（議員）が、議案内容と課題・問題点を洗い出しておいて情報共有しておきながら、議員間で事前確認し合うようなやり方に変えてみるのも価値があるように思う。議員間討議が盛り上がれば、賛否の内容に多少なりとも変化が出てくるように思う。